

ストレスマネジメント研究

— Stress Management Research —

Volume No. 11

| | |
|---------------------------------|-------|
| 巻頭言 | |
| 理事長 山中 寛 | 1 |
| 「ストレスマネジメント研究」創刊にむけて | |
| 特集：日本ストレスマネジメント学会第1回学術大会 | |
| 記念講演 | |
| 成瀬悟策 | 3-8 |
| ストレスマネジメントと自己コントロール | |
| シンポジウム：ストレスマネジメントの展開：現状と今後の課題 | |
| 山中 寛 | 9-14 |
| 学校を中心としたストレスマネジメント教育の展開 | |
| 山田富美雄 | 15-21 |
| 行動科学的介入法としてのストレスマネジメント教育 | |
| 松本 繁 | 23-26 |
| 教師とスクールカウンセラーによるストレスマネジメント教育 | |
| — ストレスマネジメント教育研究会の活動の現状と今後の課題 — | |
| 富永良喜 | 27-32 |
| ストレスマネジメントとトラウマ | |
| 兵庫におけるストレスマネジメントの動向 | |
| 津田 彰・津田茂子・命娉恭子・向笠章子 | 33-36 |
| 実証に基づくストレスマネジメントの構築に向けて | |
| — 指定討論 — | |
| 竹中晃二 | 37-38 |
| 日本のストレスマネジメント研究のこれまでとこれから | |
| — 第1回大会シンポジウムの司会を担当して — | |
| 一般論文 | |
| (原著) | |
| 下谷恵美・伊藤拓・竹中晃二 | 39-44 |
| ハープティーンが睡眠の質へ与える影響 | |
| 滝沢瑞枝・坂野雄二 | 45-51 |
| タイムマネジメント行動が教員のストレスに及ぼす影響 | |
| 岩切祐司・山中寛 | 53-59 |
| 児童の対人的自己効力感がストレスに及ぼす影響について | |
| (展望) | |
| 中村菜々子 | 61-70 |
| 高齢者を対象としたストレスマネジメント研究の動向 | |
| (実践報告) | |
| 古角好美・百々尚美 | 71-74 |
| 健康委員会活動で行ったストレスマネジメント教育プログラム | |
| 会務 | |
| 日本ストレスマネジメント学会会則 | 75 |
| 日本ストレスマネジメント学会理事会会務担当 | 76 |
| 日本ストレスマネジメント学会第一回常任理事会議事録 | 76 |
| 日本ストレスマネジメント学会第一回理事会議事録 | 76-77 |
| 「ストレスマネジメント研究」編集委員会規定 | 77 |
| 「ストレスマネジメント研究」執筆要項 | 77-78 |
| 編集後記 | 79 |